

研修計画書「5 校内研修」の記載例

研修者の職務、所属校の教育目標等を鑑み、研修者が記載する。その際、研修者の資質・能力の向上だけでなく、学校教育活動の活性化につながるものとなるよう、校長・教頭等の助言を得る。

5 校内研修【教科等指導力向上のためのOJT】

(1) 重点的に取り組みたいこと

同学年担当教員と連携しながら、国語科における主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を展開する。

(2) 研究授業実施計画

実施計画月	内 容（対象学年・教科等名・領域等）
7 月	小学部5・6年 国語科 「感じたことを伝えよう」
11月	小学部5・6年 国語科 「〇〇〇」

部・学年・教科・単元・領域等について記入する

※研究授業実施日を複数設けてもよい

誰と関わりながら、どのような取組をするか、文章で記述する。

(3) OJTの計画

実施計画月	O J T の 手 だ て
6 月	研究計画の立案 国語科における「主体的・対話的で深い学び」とは何かについて、学年で共通理解を図る。また、学年会で持ち寄った先行実践を参考にして授業計画案を作成する。その際、「主体的・対話的で深い学び」を構築するための個別の手だてを単元レベルと本時レベルの両面で明らかにする。
7 月	授業研究① 同一学年の教員や教科主任等と実践内容を吟味しながら、ねらいに迫ることができたかを検証したり、意見徴収等をして改善点の示唆を得る。実践は同学年教員にも同単元で実施してもらい、力量向上につなげる。
8 月	専門研修（校外）を踏まえた振り返り 授業研究①の課題や校外研修で得た知見により、改善点を整理する。校外研修の資料については、同学年担当教員にも配付して、研修内容を還元する。改善点をまとめた中間報告を基に、管理職や教務主任から指導助言を受け、修正した中間報告は全職員に配付する。 2学期の授業実践の手だてを明らかにし、同学年担当教員とともに新たな授業計画を立案する（特定課題研究）。
11月	授業研究② 学年の協力を得て、継続的に研究を進める。手だての有効性を検証するために同学年担当教員が協力して分析を行えるように役割分担をする。 授業を公開する。協議会を実施し、…（略）
//////////	//////////
//////////	//////////

上記と同様

6 校内研修【マネジメント力向上のためのOJT】

(1) 重点的に取り組みたいこと

生徒指導主事として関係教職員と連携しながら、児童の基本的生活習慣の確立を目指す。

(2) OJTの計画

実施計画月	O J T の 手 だ て
6月	・分掌における立案 教務主任、学年主任の指導・助言の下、児童の基本的生活習慣の確立に有効な方策を考え、起案文書を作成し、分掌会・学年会・運営委員会で提案する。
7月	・6月に提案した方策の実施 実施に当たって、児童の現状を踏まえ、学年集会で講話を行う。講話の内容は、同学年で検討するとともに、2学期に若手教員が講話することを見通し、講話の目的や内容を共通理解しておく。
9月	・7月の校外研修を踏まえた振り返り 1学期に行った立案・実施に関して、校外研修で得た知見を基に再検討する。その際、関係教職員との協議も行う。
11月	・1学期に行った方策の再実施 振り返りを踏まえ、改善を加えた方法で再実施する。また実施の際は、同僚性構築の一環として、若手教員とともに準備・実施する。若手教員が模擬で講話をする場を設定し、アドバイスをする。 ・振り返り 関係教職員とともに振り返りを行い、…（略）

実施報告書「2 校内研修」の記載例

「研修内容」については、誰と関わりながら、どのような取組をしたか文章で記述する。

ア 教科等指導力向上のためのOJT

実施月	研 修 内 容
5月 6月	・研究計画の確認及び立案 5月〇日、授業研究の計画について、研修主任や教務主任の助言を受け、授業研究計画の作成スケジュール、検討会議について確認した。その後、教科主任と相談し、教科・領域を決定した。6月〇日、学年会で研究計画及び学習指導案を提案、検討を行った。教科会での意見を基に修正を加え、学習指導案を作成した。
7月	・研究授業の実施 7月〇日、授業を公開した。協議会での意見や参観者の助言を基に …（略）
9月 10月	・1学期実践の振り返りを踏まえた授業改善の手だてを確認 9月〇日、研修主任や教科主任に、1学期実践の進捗状況や分析結果を報告した。取組や手だての有効性を吟味し、修正を加えて新たな授業計画を作成し、10月〇日の学年会で提案した。同月には、授業研究を行い、若手教員にアドバイスをするとともに、学年職員の授業力向上に努めた。

イ マネジメント力向上のためのOJT

実施月	研 修 内 容
5月 6月	・分掌会、学年会、運営委員会での提案 5月〇日、生徒の基本的な生活習慣の確立のために有効な方策について、教務主任の助言を受け、第2学年で「生活の記録」を実施する提案をすることとした。学年主任にも相談しながら、起案文書を作成した。6月〇日の教務部会、6月〇日の学年会で提案し、関係教員の助言を基に修正したものを、6月〇日の運営委員会で提案した。
7月	・学年集会での講話 「生活の記録」を実施するに当たって、7月〇日の学年集会で、実施の目的や生徒 ・校外研修を踏まえた振り返り 8月〇日、研修主任に8月〇日の校外研修で学んだことを報告し、「生活の記録」に関して1学期に行った関係教員との連絡・調整について振り返った。また、教務主任から助言を受けながら、夏休み1学期の「生活の記録」の内容を分析して全体に周知した。
9月 10月	・1学期の分析結果を踏まえた学年集会での講話 9月〇日、教務主任、学年主任に、1学期の記録の分析結果を報告した。また、分析結果を踏まえ、2学期の生活について、初任者が10月〇日の学年集会で講話を行った。講話の準備に際しては、初任者と何度も話し合い、効果的な講話となるよう支援した。
11月	・振り返り 11月〇日、1・2学期の取組について、教務主任、研修主任、学年主任、初任者と振り返りを行い、今後の課題を共有した。